

保育園給食を考える荒川区民の会通信

NO. 1

発行日：平成12年10月1日

【発行】

保育園給食を考える荒川区民の会

代表者：柳谷 肇

〒114-8501 荒川区西日暮里
日暮里三丁目1番1号
保育園給食を考える荒川区民の会
代表者：柳谷 肇

保育園給食の業務委託が検討されています

現在荒川区において、学校給食に続き「更なる行革」の一環として区立保育園の給食業務を民間に委託することが検討されています。その内容は、平成13年度から一部の保育園で調理業務を委託し、毎年委託園を増やしていくというものです。

保育園給食を考える荒川区民の会が発足しました

現在区立保育園に通園する乳幼児にとって、保育園給食はこころやかなる成長に重要な役割を果たしているだけでなく、離乳食、アレルギー食への対応のほか、体調に合わせた細かい配慮がなされています。

最近、O-15.7や食中毒事故の報道が絶えず、食品添加物と健康との関係が明らかになってきているこの頃です。

給食業務委託は、食事の安全性や質の低下が予想されるだけでなく、公的責任の放棄につながりかねません。また、この検討について、保育園利用者には荒川区から十分な説明をされていないだけでなく、実際に保育を行っている保育園職員の合意も得られていません。

そこで、子どもの健全な成長と健康を願う区立保育園職員と父母、区民が手をつなぎ、保育園の給食を守るために「保育園給食を考える荒川区民の会」を発足させました。

第1回保育園給食を考える荒川区民の会が開催されました

去る9月26日午後7時より、生涯学習センターで第1回保育園給食を考える荒川区民の会（以下「考える会」）が開催されました。区民、荒川区職員労働組合（以下「区職労」）あわせて26人が参加しました。この日、保育園分会に子どもの保育を担当していただきました。

「考える会」代表者の柳谷さんの挨拶、発足の経緯説明の後、区立保育園の給食調理業務委託の問題点の確認、「考える会」の位置づけ、今後の運動について熱心に話し合いました。予想される問題点は裏面のとおりです。

《参加者の意見》

ここに出席していない父母はこの問題を知らない人も多い。どのようにして、知らせで運動にしていけるのか。（父母）

「財政効率率が上がるから委託する」と言うが、委託して本当に財政効率率が上がるのか？（父母）

《話し合いの内容》

- ・第1回目の「考える会」のため、意見交換を活発に行なった。タイムスケジュールや「考える会」の運営については、今後検討していく予定です。
- ・当面、区長あての「保育園給食業務委託計画中止と給食のさらなる充実を求める要請書」署名運動を行う。
- ・「考える会」のニュースを発行し、父母と区職労で配布し、父母や区民にこの問題を知らせていく。
- ・計画中止の運動だけでなく、食の安全などのテーマで学習会を開き、知見を高める。

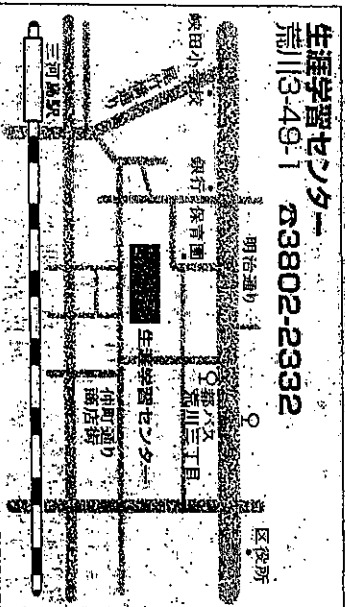
《「考える会」次回の予定》

日時：10月6日（金）

午後7時開始

場所：生涯学習センター

内容：タイムスケジュール
運営、体制など



保育園給食業務委託によって、予想されること

荒川区の保育園給食は安全で区の誇りです

給食調理業務委託は食事内容の質の低下につながります。
現在区立保育園給食の離乳食は一人一人の咀嚼の発達に合わせて工夫されています。委託業者の選定は、安く見積もった業者にも委託され、結果的に経費の低質化を確保し、結果的に経費の低質化が低下すると考えられます。給食調理業務委託では、特に細かい検査を要する離乳食の対応が難しく、苦情が出ている区もありです。

子どもの健康状態が、その日の給食調理に反映できないシスラムになります。
保育園給食は、保育士、栄養士、調理員の連携が、細かな調理が委託業者を通じて直接指導できず、子どもに合わせることができなくなります。

給食調理業務委託は食事の安全性や質の低下につながります。
現在区立保育園では、衛生面での教育を受け、定期的検査を義務づけられた仕事量に見合った常勤職員が公的責任のもとに調理業務を行っています。しかし給食調理が業務委託になれば、調理従事者は人数や教育の自主管理といたして、検査も業者の自主管理となるおそれがあります。

給食調理業務が委託されれば、アレルギ一見への対応ができません。
現在区立保育園では、委託されない離乳食と同様、アレルギ一食も細かい検査を要する食事で、対応ができません。委託された区では、アレルギーの対応が、アレルギ一食の事例もありません。

子どもの食育を行政改革の名のもとに切り捨ててよいのですか？

給食調理業務委託は公的責任の放棄につながります。
荒川区には、安全で豊かな給食を保育園児に供給する責任があります。このためには、給食調理に携わっている職員に指示し、監督された場合、指示命令は間接的なものになり、責任をもちた業務体制がなくなります。

財政効率はほとんどありません。
給食調理業務委託は、財政効率を良くするという理由で提案されています。しかし現状の質を保証して委託するのでは、財政の効率は配置するのとすれば、全国に比べても財政効率はあります。

将来、荒川区を担う子どもはどこか
給食で育つものは、次のとおりです。
・五感を育てる食育
・健康な食行動の自立
（離乳食・幼児食・アレルギ一食）
現在の給食システムでこそ、保育園給食で子どもが育つのは、将来の荒川区を担う子どもにとりかたが心配です。

区民への説明が不十分です。
子どもをあずけている保護者、保育園職員の合意を得ないまま、委託計画がなされるのは問題だと思えます。

保育園給食を考える荒川区民の会発足の経緯

①平成12年7月17日、荒川区立保育園父母の会連絡会と区職労との交流会が開催された。区立保育園の給食業務を民間に委託する計画があり、保育園を利用して乳幼児には大きな問題であることが区職労から説明された。

②父母連の中でも、委託問題については話し合わせ、父母連は保育園給食についてのアンケートを父母に対して実施した。

③区職労保育園分会主催で、4回に分けて地区別集會が開かれた。委託による問題について、父母に対して説明が行われた。

- 8月30日(水) 尾久地区
- 9月1日(金) 日暮里地区
- 9月5日(火) 町屋・荒川地区
- 9月6日(水) 南千住地区

約400名が参加

④9月18日区職労と父母連が話し合い、「保育園給食を守ることは、区民の福祉を守ることにつながる。父母連だけの運動では、保育園利用者の問題ととらえられがちなので、保育園給食を考える荒川区民の会を発足させ、大きな運動にしていきたい。」という結論に達した。

⑤9月22日区職労主催で給食調理の業務委託反対区民集會が開催された。父母147人、区民8人、子ども127人、区職労より239人が参加した。区職労から委託の問題点、すでに保育園の調理業務が委託された他区の調査報告、保育園職員や調理業務担当者からのアピ一ルが提起され、父母からの質問や切実な不安も多くさされた。行動提起の中で、父母から『保育園給食を考える荒川区民の会』が提起され拍手のうちに発足の運びとなった。(この日の詳細は次のニュースでお知らせします)

これから、『考える会』は継続して行います。保護者だけでなくひとりで多くの方のご参加をお願いいたします。

保育園給食を考える荒川区民の会通信

N O. 2

【発行】

保育園給食を考える荒川区民の会

代表者：棚谷隆

代表連絡先

荒川区立保育園父母の会連絡会

会長 佐藤千苗子

発行日：平成12年10月6日

給食調理の業務委託反対区民集会が開催されました

去る9月22日区職労主催の『給食調理の業務委託反対区民集会』が開催されました。父母147人、区民8人、子ども127人、区職労より239人が参加しました。区職労から委託の問題点、すでに保育園の調理業務が委託された他区の調査報告、保育園職員や調理業務担当者からのアピール提起されました。父母からは給食調理の業務委託について質問や切実な不安も多くいただきました。行動提起の中で、父母から『保育園給食を考える荒川区民の会』が提起され拍手のうちには発足の運びとなりました。今回の通信は、すでに保育園の調理業務が委託された他区（品川区、足立区）の状況を中心にお知らせします。

【『考える会』次回の予定】

日時：10月13日（金）

午後7時開始

場所：サンパール荒川 4階

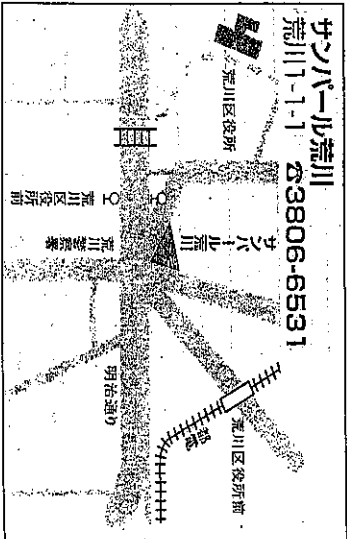
講演：『委託って何？』

講師：牧下圭貴先生

（「学校給食ニュース」編集長）

*保育あります。

会場地図



足立区 の 状 況

【概要】

- 平成12年4月から60園中4園に委託が実施された。いづれも100名以上定員の0歳児園。これは、契約単価が高いために選ばれた。
- 4園には区採用の非常勤栄養士が配置され、委託業者と保育園のパイプ役になっている。
- 調理員は委託業者のチーフ1名、正規1～2名、パート1名のようにあるが、調理室がよく見えない。大体4人ぐらいで調理しているようだ。

【メリット】

- 区としてかかる経費が安くなったこと。「食材もゆくゆくは委託内容にもりこみたい」と言っているので、利潤を追求することになるだろう。
- 【デメリット】
- 委託業者が慣れていない（経験がない、わからない）ので、特に離乳食がうまくいかない。離乳食のお粥がリゾットになってしまったり、出上がり時間の遅くなるなどの実態がでてきている。
- 委託業者だけでなく、栄養士も調理室で手伝わなくてはならない状況。また食器のこわれる率が高くなった。
- 子どもの発達や咀嚼にあわせた調理など望めない。保育士が食べさせる時にスプーンなどでつぶしている。
- 委託業者は区との契約にないことはやらない。その日の子どもの体調に合わせた食事の変更など、突発的な仕事は受け付けられない。
- 委託業者は月曜日に土曜日分の代休があるので、月曜日の午後のおやつは手づくりではなく、市販のお菓子のお盛り合わせが出る。月曜日以外でもゼリーが固まらず、市販のお菓子に変更になったこともある。

【その他】

- 足立区は給食の展示を行っていないので、今でも父母に対して給食のサンプルは出さない。
- 委託業者の中でも、病院給食を手がけている業者は比較的集団給食に慣れている。
- 保育園の調理師をやっていた人で、栄養士の資格を持っている人が非常勤栄養士として配置されたが、実際に委託業者のなかで、園児の食事を作るのはとても大変で「もとのほうがよい」と言っている。

【概要】

- 区役所の保育課に2名の委託業者担当の栄養士が配置され、5つの委託園を回っている。
- 子どもの体にあわせた食事内容の変更は、園長を通してしかできない。下痢をした1歳0歳の対応は、やってくれる園もあるらしい。
- 食材の発注、検品は園長が行っている。
- 委託業者の調理員の人数は詳しいことはわからない。5人ぐらい。
- 契約に入っていない仕事はしない。例えば委託業者は遠足の引率、避難訓練、運動会などの行事には参加しない。
- 職員が検食を毎日行い、感想をノートに書いている。

【メリット】

- してメリットというなら、食事を業者に安心してまかせておけないので、職員が「食」に対する意識が高くなったこと。

【デメリット】

- 調理室の状況はわからない。園長だけがわかる。また、「他にもらしてはいけない」と口止めされている。
- 離乳食の検食は担任の保育士が行う。不安で大人が食べてからでない子どもにも食べさせられない気持ち。
- 保育士と調理員の連携は大変とりにくくなった。委託業者、栄養士、園長との打ち合わせは月1回程おこなわれるが、その中に保育士はほとんどは聞いていない。
- 調理中分量をまちがえて、アレルギーがひどくなった園児もいる。
- カレーの分量を間違えて、子どもには食べられない程の辛さ。
- 保護者からは、食材や調理方法についての不安が大きく、区役所には苦情が多い。5月からは、食事に対する不安のために、欠席させている父母もいる。

「保育園給食業務委託計画中止と給食のさらなる充実を求める要請書」の署名を開始しました。

「保育園給食業務委託計画中止と給食のさらなる充実を求める要請書」署名運動を開始しました。保育園給食を守るためにご協力をお願いいたします。

(署名にあたって)

- ① 署名の要請項目と内容に賛同していただける方であれば、団体、個人を問いません。
- ② 年齢や居住地を問いません。荒川区以外、東京都民以外であってまかまいません。
- ③ 署名に印鑑の必要はなく、サインでもかまいません。
- ④ 署名の締切りは11月2日です。

『保育園給食を考える荒川区民の会』に事務局が発足しました。よろしくおねがいします。

事務局員名	所属、その他
佐藤千恵子	荒川区立保育園父母の会連絡会 会長
佐藤 豊子	荒川区立保育園父母の会連絡会 副会長
榎本小百合	荒川区立保育園父母の会連絡会 事務局
田崎真由美	西日暮里保育園父母の会 副会長
佐川きよみ	西日暮里保育園父母の会 書記
新谷 国彦	荒川区職員労働組合 副委員長
田口 幸夫	荒川区職員労働組合 書記長
寺久保友子	荒川区職員労働組合 執行委員
荒原 由己	荒川区職員労働組合保育園分会長
庭山 宜子	荒川区職員労働組合保育園副分会長

これから、『考える会』は継続して行います。保護者だけでなくひとりで多くの方のご参加をお願いいたします。

保育園給食を考える荒川区民の会通信

N.O. 3

発行日：平成12年10月20日

会長 佐藤千恵子

荒川区立保育園父長の会連絡会

代表連絡先

代表者：細谷隆

【発行】

保育園給食を考える荒川区民の会

代表者：細谷隆

代表連絡先

荒川区立保育園父長の会連絡会

会長 佐藤千恵子

発行日：平成12年10月20日

N.O. 3

保育園給食を考える荒川区民の会通信

『保育園給食を考える荒川区民の会』代表者の細谷隆さんについてお話し
『考える会』が発足し、通信を出し始めて3回目となりました。この間、「細谷隆さんってどんな人？」という質問がたくさん寄せられましたので、今回は代表者のあいさつと紹介を掲載しました。

牧下圭貴先生が『菜花』で何？』というテーマで講演される

10月13日（金）に『委託って何？』というテーマで牧下圭貴先生の講演会が開催されました。保護者、職員、その他あわせて111人が参加し、熱気あふれる講演会となりました。

【「考える会」次回の予定】

日時：11月2日（木）

午後7時開始

場所：生涯学習センター

講演：『何かへんだよ、衛生管理！』

講師：星見 宏 先生

（健康情報研究センター所長）

（国立公衆衛生院客員研究員）

*保育あります。

街頭署名活動のお知らせ

10月22日（日）12:00~14:00

荒川遊園地前

10月30日（月）17:30~19:00

町屋駅前・日暮里駅前

11月4日（土）15:00~17:00

シライナル三ノ橋

『保育園給食を考える荒川区民の会』会長のごあいさつ

保育園給食の業務委託を考えて...

細谷 隆

私は子供を荒川区立の保育園に預けている父親としてこの会に参加しました。今回私が保育園給食の業務委託の問題に興味を持ったのは、自分の子供がアレルギーをもっていることもあり、食に対して敏感なこともありましたが、いろいろな方のお話しを聞いたりの資料を見ているうちにどうも心配になってきました。アレルギー食に対してしっかりと対応ができるかどうか分からないからです。アレルギーを持つ子供は年々増加傾向にあり、一人一人の対応はさまざまです。複雑で、知識と経験が重要です。離乳食においても月齢や子供の発達、個性や子供一人一人の体調によっても細やかな配慮が大切になり、知識や経験の蓄積という意味合いからも、固定された調理士の方に行って頂くのが最善と考えます。保育園に欠けるという理由で保育園は存在します。その為園内の全ての事務は子供達の為に考えるべきものです。さまざまな行事、安全性、保育体制、遊樂訓練やおむかえの時間なども子供達の事を一番に考えれば必ず必要な事務です。しかし給食の民間委託は子供達の為に導入されるのでしょうか、それは大人の都合によって導入されるものではないのでしょうか。

保育園の給食は、食に対する発達にとって大切な時期という事もあり、小学校の給食以上に重要な保育の場であると思います。今の保育園給食は、顔なじみの調理士さんたちで作っていたものを食入しています。時折様子を見に来てくれて『○○さんの作ったごはんおいしい？』などと声をかけられて『うん！おいしい！』と答えたり、だまっとうなすいたり作ってくれたのか、しっかりわかっているのです。家ではお母さんやお父さん、おばあちゃんかおじいさんですが、子供たちは『これは誰が作ってくれた...』という意識をもっているはず。その気持ちも大切に育てていきたいものです。この業務委託の話は前例もほとんどなく、問題点が見えにくいことおありとても複雑です。しかし子供達の事を第一に考えれば賛成できる材料は全くありません。今はできるだけ多くのの方に資料や通信を読んで頂き、私たちがの考えをご理解頂いて、保育園給食の業務委託計画中止の声を広げていきたいと思っております。皆様の一層のご協力をお願いいたします。

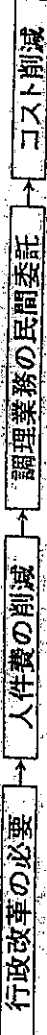
牧下圭貴先生のお話

【民間委託の論理】

なぜ、全国の自治体がこぞって調理の民間委託を導入しようとしているのでしょうか。行政改革を求められた自治体は、「人件費の削減」を行政改革の指標と目標にしています。人件費を削減する上で、学校給食調理は格好の「民間委託」しやすい業務と見なされています。そして、学校給食調理員を削減して民間委託にすれば、「コストは削減できる」といわれています。

しかし、この「コスト削減」論は仮説です。もし、自治体が調理の民間委託を検討するのであれば、きちんと比較して試算結果を公表すべきです。さらに、コストが削減されるとしても、民間委託と直営調理の利点・欠点を整理し、削減したコストに見合うかどうかを検討する必要があります。

これまでの民間委託導入では、調理員削減＝民間委託導入＝コスト削減とされてきました。しかし、きちんとした試算結果や効果については公表されていません。



【コスト削減は仮説】

- 検証されているか？
- 削減コストは、教育費予算や自治体予算全体のどの程度か？
- 民間委託は、教育としての学校給食にとって最善の方法か？

【民間委託の問題点】

衛生管理上の問題

病原性大腸菌O-157など、従来では考えられなかった厳しい衛生管理が要求されています。また、大規模調理は、一度食中毒が発生させれば大規模化するというリスクを負っています。学校給食についても、平成9年の保健体育審議会答申で、食材の一括購入や統一献立、センターなど、大規模被害につながる大規模化よりも、食材の個別購入、調理場ごとの献立、自校方式調理が望ましいことを指摘しています。また、近年、工場ですくられた加工食品による大規模食中毒事件が発生しており、加工食品だからと言って安心できないことを改めて知らされました。

そんな中、HACCPのような徹底した衛生管理が学校給食の現場でも求められています。HACCPの是非はともかく、一般的な衛生管理はHACCP以前の問題として必要不可欠です。とりわけ、調理者の衛生管理教育や技能の修得は必須とされています。その中で、パート職員中心となる民間委託は直営調理員による調理よりも潜在的リスクは高いと言えます。

責任の分散による問題

学校給食についての最終的な責任は、自治体の長を筆頭に、(教育委員会の責任者、校長、センター責任者)です。これは、直営であった場合でも変わりません。ただし、民間委託の場合、仮に何らかの事故があった場合、児童生徒への責任は自治体ですが、自治体側は民間委託業者に対して、契約違反や衛生管理上の問題として責任を追及することになります。この責任構造の複雑化は、一方で、衛生管理などについての曖昧さ、甘さを生む温床になりかねません。

詳細は講演のテープを起こして、配布します。

参加者の声

詳しいお話しが聞けました。民間委託もいろいろあるから、本音で話したい。お話しも聞けました。涙も流れました。

子どもたちのために、一歩でも進めたい。頑張りたい。

子供の為には絶対良い事ではないと声を大にして言える。色々な側面から考えれば、何一つ乳幼児及び0才児には為にならない。保育園給食は単に食べさせるだけではない。人間形成の一つ大事な時期の0才5才児に、食生活の降参に大きな影響を及ぼす。もっと真実に、大切に、慎重に扱って(乳)問題に、コスト削減の為に標的にすべきではない。絶対。

高橋さん
成瀬さん

能くお話し、この問題が、子供の問題か、社会的にも子供の成長にかかわる問題か、クワイエットとか、改めて勉強です。月見のレポートで、5年、10年先をみても、反対運動を推進してあげたいと思つた。

佐々木さん

今、現在、我が家の長女が学校給食の民間委託には、こまり。昨年、給食委員で、学校職員の調理士と、調理工との話し合い、参加して、民間委託が、必おしも悪いとは思いません。状況です。しかし、保育園と違って、子供達から、小エの、食事の事と、くらしに、親には、言葉が、出来ないので、やはり、今日の講演で、聞いて、不安を感じました。もっと和み、調理の状況を、調べ、ほしいと思つています。

中野さん

これから、『考える会』は継続して行います。保護者だけでなくひとりでも多くの方のご参加をお願いします。

号外

保育園給食を考える荒川区民の会通信

発行日：平成12年10月29日

【発行】 保育園給食を考える荒川区民の会
代表者：細谷隆
荒川区立保育園父母の会連絡会
代表連絡先：会長 佐藤千恵子

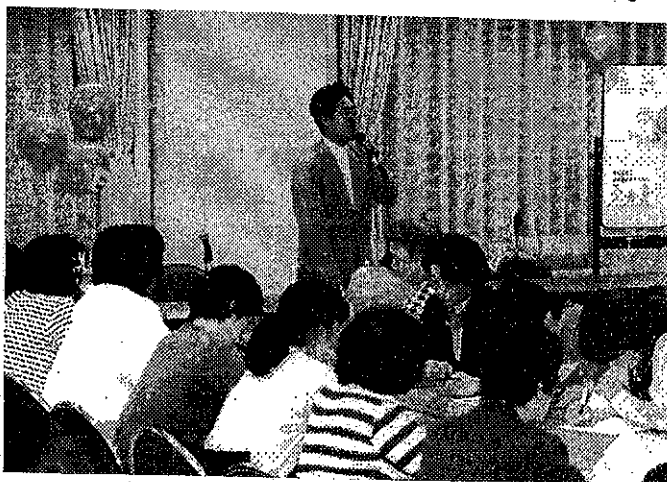
保育園給食の業務委託に反対しています！

荒川区では学校給食に続き、区立保育園の給食業務を民間に委託することが検討されています。区立保育園に通園する乳幼児にとって、保育園給食はこころやからだの成長に重要な役割を果たしているだけでなく、離乳食、アレルギー食への対応のほか、体調に合わせた細かい配慮がなされています。最近、0-157や食中毒事故の報道が絶えず、食品添加物と健康との関係が明らかになってきているこの頃です。給食業務委託は、食事の安全性や質の低下が予想されるだけでなく、公的責任の放棄につながりかねません。また、この検討について、保育園利用者は荒川区から十分な説明をされていないだけでなく、実際に保育を行っている区民が手をつなぎ、保育園の給食を守るために『保育園給食を考える荒川区民の会』を発足させ、委託に反対をしています。

街頭宣伝署名運動始まる
委託反対の共感広がる



「委託って何？」というテーマで学習会開催、110名が参加
講師の牧下さんは、「パート職員中心となる民間委託は、衛生管理上潜在的なリスクは高く問題が大きい」など、民間委託の論理や問題点について話されました。



次回学習会 日時：平成12年11月2日（木）午後7時開始
場所：生涯学習センター
内容：「何か変だよ！衛生管理」
講師：里見 宏先生（健康情報センター所長）

保育園給食委託反対の署名にご協力下さい

保育園給食を考える荒川区民の会通信

NO. 4

[発行]

保育園給食を考える荒川区民の会

代表者：柳谷健

代表連絡先

荒川区立保育園父母の会連絡会

発行日：平成12年11月2日

会長 佐藤千恵子

『調理師さんについてみよう』開催される。

調理師さんの心算が伝わって来ました。

去る10月20日(金)午後7時から、生涯学習センターで区立保育園調理師さんと父母の懇談会が開催されました。調理師さんから、子どもの好きなメニュー紹介や、野菜の調理方法など、日頃の工夫をうかがう中、子どもたちとの触れ合いを嬉しそうに語る姿は、親も嬉しくなる程、ほほえましいものでした。調理師さんの調理への熱意と心意気がひしひしと伝わってくる会でした。

『考える会』次回の予定

日時：11月10日(金)

午後7時開始

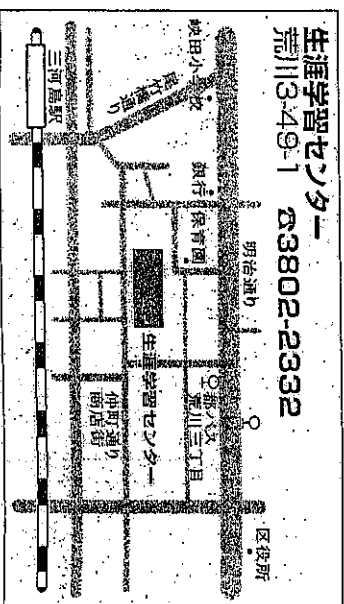
場所：生涯学習センター

内容：①署名の集約報告と運動まとめ

②今後の運動方針

*保育あります。

地図



調理師さんの工夫あれこれ

食品の安全について

0-157事件以来、食中毒のことが注目されているが、添加物の問題は大きい。保育園では、加工食品や添加物の含まれていないような食品はほとんど使っていない。

0-157などの食中毒の対策については、生野菜は出せない。そのため、ごま和えの場合はごまだれにして、食べる直前に保育士がかけている。サラダは野菜を茹でて、ドレッシングを食べる直前にかける。

メニューアルはあるの？

離乳食など細かい経験の必要な調理はメニューアルはない。『〇か月の乳児の離乳食は、これぐらいの物が食べればこれぐらいに茹でる』などと、先輩調理師から、指で実際材料をつぶしながら指導される。

調理師さんの裁量範囲は大きい

カレーのスープを取る時には、鳥ガラを使ってスープを取っているが、アレルギーの子がいる時は、栄養士と相談して豚骨に変更したりする。

アレルギーの子どもに対しては、卵焼きの時は、中の具だけを調理して出したり、ラーメンの時はうどんにしたりなど、なるべく園児が皆で食べられるようにしている。

調理師さんと子どもに触れ合い(語録集)

『最近朝ごはんを食べて来ない子どもが増えてきたんですよ。朝ごはんを食べて来ない子どもが、私の所にきてね、口を開け口を指差すんですよ。朝ごはんを食べたくないのだから、朝早くだと離乳食の人参くらいしか茹でんのですよ』会全体が何かあたたかくなったような・・・

『保育園でとれた茄子を食事以外に茄子田楽にして出したら、子どもたちがよろこんだ』と調理師さんは嬉しそう。

これから、『考える会』は継続して行きます。保護者だけでなくひとりで多くの方のご参加をお願いいたします。

レシピ紹介. いろんな球.

鳥ガラスープ

保育園のカレーは、鳥のガラからスープを取って作っている。鳥のガラを使う時にはガラをよく洗わなければならないので、大変！鳥のガラを洗った後は衛生管理の意味から、シンクを良く洗い、消毒してから他の材料を洗うのでとても手間がかかる。

アレル平一の子どもがいる場合には、調理師が栄養士と相談して（調理師の裁量）、鳥のガラを豚骨に変更することもある。「子どもは皆と同じ食事を食べたいものですから。」と調理師さん。

牛乳、はちみつ

スキムミルクを使うことがある。スキムミルクをうまく溶かすには、お湯の中にスキムミルクの粉を入れていくとうまく溶けます。とのことでした。

カレー粉

カレー粉ではなく、カレー粉を使っているのは、味付け等子ども向けにしやすい。例えば油の量や塩分量など。また、添加物も入っていない。



「カレーライス」編

作り方

- | | |
|---------|-------|
| 米 | 65(g) |
| 豚肉 | 20 |
| ジャガイモ | 45 |
| 人参 | 21 |
| 玉ねぎ | 43 |
| にんにく | 0.1 |
| 生姜 | 0.1 |
| 鶏ガラ | 1 |
| スー7° | 80 |
| バター | 6 |
| 小麦粉 | 8 |
| 牛乳 | 20 |
| カレー粉 | 0.5 |
| ケチャップ | 2 |
| ピュレシ | 1.5 |
| ウスターソース | 2.5 |
| 塩 | 0.3 |
| りんご | 7 |
| はちみつ | 0.1 |
| しょうゆ | 1g |
- ① なべにバターをとかし玉ねぎの半分を（おじんせかり）よく炒める。
 - ② 牛乳（足りなければスー7°）を加えてルーをのぼす。
 - ③ 別なべに油を入れ、にんにく、生姜のおじんせかりを炒め玉ねぎをよく炒め、豚肉、人参の順に炒め、スー7°を加えて、りんごと半量の塩、調味料（ケチャップ、ピュレシ、ウスター、はちみつ、しょうゆ）を入れて煮込む。
- ※ 肉にカレー粉の半量をおぶしておく方法や肉を炒める時にしょうゆをまぶす方法もある。
- ④ 途中じゃが芋を入れ カレーを加えさらに煮る。
 - ⑤ 味をみて 残りの塩を入れ 味を整える。

父兄より

子どもは、家で作ったカレーをたべず、「保育園のカレーがおいしい」と、保育園のカレーは食べる。今日その理由がわかった。やはり委託してはいけない。

家で作るより手がこんでいて、材料もたくさん使っている。頭がさがりました。

保育園給食を考える荒川区民の会通信

NO. 6

発行日：平成12年11月10日

[発行]

保育園給食を考える荒川区民の会

代表者：柳谷 隆

代表委員

荒川区立保育園父母の会連絡会

会長：佐藤千恵子

「保育園給食を考える区民の会」今までの動き

いろいろやって
きました。！！

<p>講演会、懇談会など</p> <p>①日 時：10月13日(金) 夜 講 師：牧下圭貴先生 テーク：『委託って何?』</p> <p>②日 時：10月20日(金) 夜 内 容：調理師さんとの懇談会開催</p> <p>③日 時：11月 2日(木) 夜 講 師：里見宏先生 テーク：『何か変だよ衛生管理』</p>	<p>街頭署名、街頭演説</p> <p>10月19日(木) 町屋駅・日暮里駅 10月22日(日) 荒川遊園地前 10月30日(月) 町屋駅・日暮里駅 11月 4日(土) 日暮里駅前 (3,7,セ-9,10-カ6行方)</p>
<p>広報活動</p> <p>オレンジ色のテイクアウト用紙でアピール 1号～5号、号外の6回通信を発行</p>	<p>署名活動</p> <p>署名活動を行い、11月2日現在 2,000人の署名が集まる。</p>
<p>広報活動</p> <p>オレンジ色のテイクアウト用紙でアピール 1号～5号、号外の6回通信を発行</p>	<p>政党への働きかけ</p> <p>11月1日夜 共産党の議員さんと話す</p>

『何か変だよ衛生管理』という
テークで里見宏先生の講演会開催

去る11月2日(木)夜、生涯学習センターで里見宏先生による講演会を開催しました。テークは『何か変だよ衛生管理』と銘打ち、食品の安全についてお話しいただきました。保護者、職員その他あわせて80人が参加し、熱気あふれる講演会となりました。背筋が寒くなるような内容を、明るく楽しく、しかも大変わかりやすくお話しいただきました。講演会のもようは、裏面にまとめました。

「考える会」の研究会をしよう

日時：11月29日(土)

午後5時開始
場所：南千住6丁目アスパイア1階集客室
(南千住6-45-38)
南千住警察署
*お子さまづれ歓迎

お知らせ

「考える会」は今後政党への働きかけや、区長へのお願いなどを予定しています。そのため、活動日程が不定期になりますので、11月17日(金)の会は中止いたします。

質問コーナー

- ② ニュースや風船を作ったり、会場費や講演会などの講師をお願いするお金は、どこから出ているのですか?
- ③ 「区民の会」は区民と荒川区職員労働組合の力で運営していますので、会の運営費は、荒川区職員からと、テイクアウトの売り上げ、寄付で行っています。

「区民の会」に対するご意見やご要望、質問をお寄せください。

保育園給食を考える荒川区民の会通信

NO. 7

[発行]

保育園給食を考える荒川区民の会

代表者：柳谷隆

代表連絡先

荒川区立保育園父母の会連絡先

会長 佐藤千恵子

発行日：平成12年12月2日

おかげさまで保育園給食の業務委託の

平成13年度実施は延期となりました。

11月8日、区職労と保育課との組合交渉で、保育課長は、「保育園給食の業務委託は、父母の間に動揺が広がっている」ことを認め、「13年度の委託実施は困難」と回答しました。

これは「保育園給食を考える荒川区民の会」を結成し、学習会の開催、区長への委託中止の署名、その他区民への宣伝活動を行ってきた成果です。しかし、平成13年度実施については延期されましたが、委託計画が中止になったわけではありません。そのため、「保育園給食を考える荒川区民の会」は今後も活動を続けていく予定です。

署名は1か月で22,000筆集まりました。
ご協力ありがとうございました。

10月に行った署名活動は、父母、区職労、区民の協力や、10月19日から11月4日の4回にわたる街頭署名、などで22,000筆をあっめることができました。

「荒川区民の会」はご支援をいただいたり、署名にご協力いただいた皆様を支えられ、ちからをいただきながら、ここまでがんばることができました。ご協力ほんとうにありがとうございました。

これから、「考える会」は継続して行います。保護者だけでなく、ひとりでも多くの方のご参加をお願いいたします。

署名は12月5日に福祉部長に手渡す
予定です。

街頭署名を11月4日に終了し、22,000筆の署名を区長直々に手渡したく、11月9日には区長室に連絡をとりました。

この時の区長室の職員の回答は、「区長に直接会って署名を手渡したいのであれば、福祉部長の立ち会いが必要。」ということでした。

そのため11月15日には福祉部長に連絡を取り「区長に署名を手渡したいので、立ち会っていただきたい」とお願いしたのですが、福祉部長は「区長ではなく福祉部長が対応する」と回答しました。その後も再三再四、「区長に直接手渡したい」ことをお願いしたのですが、結局「荒川区民の会」の願いは聞き入れていただけませんでした。

このような経過の中で、福祉部長の都合もあり、12月5日午後7時から区役所で福祉部長に会うことになりました。「荒川区民の会」は署名を手渡し、委託計画が中止のお願いを再度行う予定です。

お知らせ

10月13日(金)「委託って何?」というテーマで行いました、牧下圭貴先生の講演会内容のテーマを起こし、冊子にしました。近日中に配布しますので是非お読み下さい。また、お手元に届かなかった方は、荒川区職労又は佐藤方までご連絡ください。

考える会の忘年会をしよう

日時：12月9日(土) 午後5時開始

場所：南千住6丁目アパート1階集會室 (南千住6-45-38)

南千住警察横

会費：2000円

*お子さまづれ歓迎。飲み物、おつまみの持ち込み大歓迎。

保育園給食を考える荒川区民の会通信

NO. 9

発行日：平成13年2月16日

[発行]

保育園給食を考える荒川区民の会

代表者：瀬谷隆

代表連絡先

荒川区立保育園父母の会連絡会

会長 佐藤千恵子

23,000筆の署名を12月5日、 福祉部長に手渡しました。

皆様にご協力をいただいた、保育園調理業務委託中止を求める23,000筆の署名を12月5日夜、区役所で福祉部長に手渡し、保育園調理業務委託中止を切にお願いしてきました。

12月5日は、『区民の会』11名、行政側は福祉部長はじめ6名が出席し、1時間におよぶ話し合いを行いました。

話し合いの前に『区民の会』は、行政に対して質問を書面にして送り（『区民の会通信NO8』のとおり）話し合いの中で回答を求めるとともに、保育園調理業務委託中止を切にお願いしました。今回は話し合いの具体的な内容をお知らせします。

『区民の会』質問	行政の回答
区長さんにはどうして会えないのでしょうか。	区長は忙しい。本来であれば部下の課長対応でよいところを部長が対応した。しかも1時間も時間をとったのに！！
どうして保育園調理業務委託が提案されたのですか。 また、業務委託は子どもにとってよいことなのでしょうか。	我々は区民の税金を無駄にしないために、効率化をめざしている。現在荒川区は250億円の借金があり、それが将来の課題である。業務委託は荒川区民のための施策で、ひいては子どものためとなる。
公務に従事する職員は他にもいるのに、なぜ子どもにとって大切な食を守る保育園調理員をターゲットにするのですか。	保育園調理業務に現在の給料は必要ないと考えている。今後公務員はできるだけ少なくしていきたい。また、私（部長）の個人的な意見では、保育園は公立である必要はないし、将来的には保育園ごと民間委託してよいと思っている。
根本的な「子どもに関する問題」は一括して民間に任せてよいかどうかは疑問です。	公立の保育園は運営を委託してもできる。今回の保育園調理業務委託については、給食の実施主体を民間に任せるわけではない。
既に委託されて数年経過した学校給食では、父母や子どもの間から、色々な問題が出されています。それを前提に保育園調理業務委託は計画されているのでしょうか。 抜き打ちで学校給食を食べに行ったらどうですか。	学校給食の委託については、問題が起きているということは聞いていない。「委託されて良くなった」という評判はきいているが。
保育園調理業務が委託された場合の監視システムは決まっていますか。	決まっていない。 評価システムの検討を行っている。
保育園調理業務を委託する業者は決まっていたのですか。	幾つかの業者と話し合っている。委託する場合は、会社がノウハウを持っている所をお願いしたいと考えている。
募集広告のチラシを最近見ますが、荒川区で給食が委託された学校に調理業務職員の募集が頻繁に出ています。それは調理業務職員の入れ替わりが激しいということではないでしょうか。小さな子どもの給食を作るには、経験の蓄積を必要です。入れ替わりの激しい職員体制では、経験の蓄積ができず、安心できません。	職場は新陳代謝があった方がよい。 委託する場合は、一定期間の確保をしたい。
園長として保育園調理業務を委託してやっていけるとお思いますか。	やれると思う。区の職員が民間の業者が変わる。今まで園長は経験の中で、そのノウハウを持っている。
しかし、全部の保育園の保育園調理業務が委託されてしまえば、そのノウハウもなくなってしまうのではないのでしょうか。	

『保育園給食を考える荒川区民の会』代表者である細谷さんの冒頭発言

『保育園給食を考える荒川区民の会』

私達は荒川区の公立保育園を利用している保護者を中心に活動しています。今年の9月からの短期間の取り組みですが2万人をこえる署名が集まっています。これはこの問題への感心の高さや問題の大きさの現れだと思っています。

保育園に通う子供達にとって給食は心と体の育ちに大きな影響のあるものです。私達は何度かの講演会を開いたり、勉強会などをおして実際にどのように給食がつけられているのか、どんな影響があるのかなどを考えてきました。その結果、誰がつくっても同じであるとか、マニュアル化できるようなものではないと考えます。

現在の給食の事情はとても複雑です。月齢の差はもちろん、ひとりひとりの発達の違いや、アレルギーの問題、その日その日の体調による対応など、とてもきめの細かい対応が要求されています。

現在の荒川区立保育園の給食は、十分とは申しませんが、細かい配慮がなされています。特に離乳食とアレルギー食は経験と知識の蓄積が重要です。現在の保育園給食でも離乳食に対してはマニュアル化することが難しく、それは家庭内でも同様ですが、野菜を指などで潰してみてこれくらいの柔らかさ...ということなどを、経験の豊富な調理士の方から直接指導によって引き継がれています。

アレルギー食に関しても、ひとりひとりのアレルゲンの違いから、とてもきめの細かい気をつかう調理であります。アレルギー食に対してはこの3年間で飛躍的に対応が確立された園もあり、心強く思います。

そして大多数を占める子供達にとっても、給食さんの存在は大きく、日々の体調への対応はもちろん、自分達が園庭でつくった野菜などを収穫してみんなで食べたり、様子を見にきてくれたり、それを後の調理への参考にして頂いたり、すべてが経験と知識の蓄積につながっていきます。また行事への参加を通して給食に対する関心と信頼が高まっていますし、保護者としても調理の方の姿が見える給食室はとても安心感があります。人が生きていく上で重要な『食』という観点からも保育園給食は『保育』のなかでも重要な位置にあると私達は考えます。

調理業務委託はその一つ一つ、ひとり一人に対応できるシステムなのかどうか疑問が残ります。すでに各地で実施されている学校給食においても、調理員の入れ代わりが多いという話もうかがってあります。それは給食調理における知識の蓄積という観点からもマイナスであり、衛生面での教育など安全面からも子供達へのリスクは高まってしまいます。

すでに実施された他区の状態を見ても食べられない離乳食やアレルギーの悪化などの報告があります。さきほどお話した荒川区立保育園のアレルギー対応についても固定された調理員で3年という年月がかかっています。

このように長年関わってこられた調理士の方には『指示書』などではマニュアル化する事のできない多くの技術、技能そして何よりも子供達への愛情がつけられています。

委託された場合に心配な点をまとめて申し上げます。

- *保護者、保育士、栄養士、調理員のコミュニケーションが指示書によるものになれば日々の迅速な対応ができにくくなるのではないかと。
- *安い賃金などにより調理員の定着率が下がり、安定した給食づくりに支障が出るのではないかと。経験と知識の蓄積においてはマイナスである。
- *調理員の行事等への参加が難しくなる。日々の交流や避難訓練など。災害に対しても、日々の生活も、子供を見ている大人の数が減ることは子供の側からもリスクが高まります。
- *調理と給食に対する責任体制が曖昧になる恐れがあります。現実に小学校給食のアレルギー対応について、学校～業者～区役所をたらい回しにされた例もあります。
- *同じ献立、同じ質でできるとは、企業としての利潤の確保から考えると難しい。利潤を追求することで、子供達への工夫の余地が減る。
- *栄養士が一方的に『指示』を出せば給食が充実されるのではなく、調理士と栄養士や保育士時には保護者が連絡し情報や知恵を出し合いつくる機会が重要で、指示書によってつ

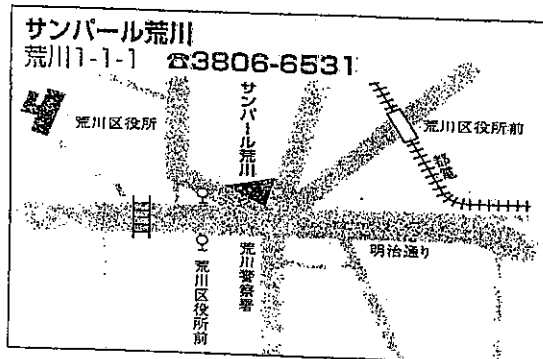
られる民間委託の給食は将来にわたって子供の側に立った『給食』とは考えられない。

このように失うもの、マイナスの要素となり得るものが大きくなれば、大きなリスクを背負うことにもなり、これを合理化ということだけではできないと考えます。民間に委託された小学校給食を、直営に戻すことへの運動も続けられています。これは民間委託が必ずしも良い結果をもたらさないという一つの答えでもあると思います。私達は、保育園給食について、業務委託に反対し、100%荒川区の公的責任においてさらなる充実をもとめます。

学習会のお知らせ

内容：『権利としての保育園給食』
 講師：雨宮正子氏（「食べ物文化」編集委員）
 日時：3月2日（金）午後6時開始
 場所：サンパル荒川

会場地図



保育園給食を考える荒川区民の会通信

NO. 10

[発行]

保育園給食を考える荒川区民の会

代表者：棚谷肇

代表連絡先

荒川区立保育園父母の会連絡会

発行日：平成13年8月25日

事務局 佐藤千鶴子

昨年度わたしたちは、このように考えました。

荒川区では、学校給食に続き「さらなる行革」の一環として平成13年度から、区立保育園の給食業務を民間に委託することが打ち出されました。

その内容は、平成13年度から一部の保育園で調理業務を委託し、毎年委託園を増やしていくというものでした。

また、区立保育園の『公設民営（民間委託）化』についても、「平成13年度から検討を開始し、平成15年度から実施」という方向が打ち出されました。

区立保育園に通園する乳幼児にとって、保育園給食はこころやからだの成長に重要な役割を果たしているだけでなく、離乳食、アレルギーマイクの対応のほか、体調に合わせた細かい配慮がなされています。

最近、O-157や食中毒事故の報道が絶えず、食品添加物と健康との関係が明らかになってきているこの頃です。給食業務委託は、食事の安全性や質の低下が予想されるだけでなく、公的責任の放棄につながりかねません。また、この検討について、保育園利用者は荒川区から十分な説明をされていなかっただけでなく、実際に保育を行っている保育園職員の合意も得られていませんでした。

そこで、子どもの健全な成長と健康を願う区立保育園職員と父母、区民が手をつなぎ、保育園の給食を守るために『保育園給食を考える荒川区民の会』を発足させ、保育園給食の業務委託の中止と給食の充実を求めて活動をしてきました。その結果、本年度の保育園給食業務委託は見送りとなりました。

『保育園給食を考える荒川区民の会』の経過

①平成12年7月17日、荒川区立保育園父母の会連絡会と荒川区職員労働組合との交流会が開催された。区立保育園の給食業務を民間に委託する計画があり、保育園を利用してしている乳幼児には大きな問題であることが区職労から説明された。

②父母連としても、委託問題については話し合わせ、父母連は保育園給食についてのアンケートを父母に対して実施した。

③区職労保育園分会主催で、4回に分けて地区別集会在が開かれた。委託による問題について、父母に対して説明が行われ、約400名が参加した。

8月30日（水）尾久地区 9月1日（金）日暮里地区
9月5日（火）町屋・荒川地区 9月6日（水）南千住地区

④9月18日区職労と父母連が話し合い、「保育園給食を守ることは、区民の福祉を守ることにつながる。父母連だけの運動では、保育園利用者の問題ととらえられがちなので、保育園給食を考える荒川区民の会を発足させ、大きな運動にしていきたい。」という結論に達した。

⑤9月22日に区職労主催で『給食調理の業務委託反対区民集会』が開催された。父母147人、区民8人、子ども127人、区職労より239人が参加した。区職労から委託の問題点、すでに保育園の調理業務が委託された他区の調査報告、保育園職員や調理業務担当者からのアピールが提起され、父母からの質問や切実な不安も多くだされた。行動提起の中で、父母から『保育園給食を考える荒川区民の会』が提起され拍手のうちに発足の運びとなった。

平成12年度

講演会 懇談会など

①日時：平成12年10月13日 講師：牧下圭貴先生 テーマ：『委託って何？』	②日時：平成12年10月20日 内容：調理師さんとの懇談会開催
③日時：平成12年11月2日 講師：里見宏先生 テーマ：『何か変だよ衛生管理』	④日時：平成13年3月2日 （荒川区職員労働組合主催） 講師：雨宮正子先生 テーマ：『権利としての保育園給食』

街頭署名、街頭演説

- ① 平成12年10月19日(木) 町屋駅・日暮里駅
- ② 平成12年10月22日(日) 荒川遊園地前
- ③ 平成12年10月30日(月) 前原駅・日暮里駅
- ④ 平成12年11月 4日(土) ヨイフル三ノ輪(マッセージオパークも併り)

署名活動

23,000筆の署名が集まる。

広報活動

- ・オレンジ色の टीシャツ でアピール
- ・通信発行。1号～9号、号外の10回発行

政党への働きかけ

平成12年11月1日夜 共産党の議員さんへの働きかけ。

行政への働きかけ

12月5日: 23,000筆の署名を、福祉部長に手渡ししました。

保育園調理業務委託中止を求め、23,000筆の署名を区役所で福祉部長に手渡し、保育園調理業務委託中止をお願いしてきました。『区民の会』11名、行政側は福祉部長はじめ6名が出席し、1時間におよぶ話し合いを行いました。『区民の会』は、話し合いの前に行政に対して質問を書面にして送り、回答を求めました。話し合いの内容は通信の9号でお知らせしました。

平成13年度

6月2日(土) 星・7月19日(木) 公明党の議員さんへの働きかけと話し合い。
6月30日(土) 星 父母の会連絡会総会で話し合い。

7月22日(月) 星 父母の会連絡会と荒川区職員労働組合との話し合い。行政改革の第一環として区立保育園の委託が検討されていることが共有されました。その中身は平成13年度から検討し、平成15年度から実施していくというものです。

8月4日(土) 保育園給食民間事業所の見学会を行う。既に給食の委託がされている、足立区の公立区立保育園を見学してきました。この内容については、次号の通信で報告します。

平成13年度は

平成13年度は、平成12年度の学習会や活動をふまえて、保育園給食の問題だけではなく、公立保育園委託についても同時に考えていきたいと思えます。

たくさんのご意見をお寄せ下さい。

保育園・保護者のみなさんへ 荒川区職労メール

私たちは、荒川区の職員で(保育園の職員も含めて)、荒川区職員労働組合をつくっています。荒川区職労とか単に区職労といいますが、自分たちの権利を守るだけでなく、区民のみなさんの利害にかかわることについて積極的に発言したり、行動してきました。

私たちは、荒川区に、保育園給食の委託計画を中止し、調理内容をいっそう充実するよう求めています。また、区立保育園を民間に委託する計画については、「水準の低下」になるので反対です。この「通信」で、私たちの考えを理解していただけるように、これからメッセージを送ります。

[学習会のご案内]

主催 荒川区職労 テーマ:「委託って? パートII」
日時 9月4日(火) 午後6:15~8:00
講師 牧下 圭貴氏 (「学校給食ニュース」編集責任者)
場所 サンパール荒川小ホール

[地区別集会]

..... ぜひおいでください! (保育室を準備します)

9月12日(水) 東尾久保育園・町屋保育園・荒川保育園
場所 町屋区民事務所ひろば館
(時間は、19:00~20:00)

『保育園給食を考える荒川区民の会』からのお知らせ

内容: 荒川児童福祉課と保育園の問題について話し合いをします。

日時: 平成13年8月31日(金) 午後7時開始

場所: 荒川区役所

集合場所と時間: 荒川区役所地下1階ロビーに午後6時50分集合

* なるべく多くの方のご参加をお待ちしています。

参加される方又はご意見ご質問のある方は、佐藤までご連絡下さい。

『保育園給食を考える荒川区民の会』通信のNO1~NO9をご希望の方は佐藤までご連絡下さい。

保育園給食を考える荒川区民の会通信
NO. 11

発行日：平成13年9月10日

〔発行〕
保育園給食を考える荒川区民の会
代表者：細谷隆
代表連絡先
荒川区立保育園父母の会連絡会
事務局 佐藤千恵子

8月31日（金）児童福祉課と話し合いをしました。

去る8月31日夜、荒川区役所で児童課と話し合いをしました。公明党の萩野議員さんのご紹介で、今回の話し合いを持つことができました。

内容は『保育園給食調理業務委託』と『既設直営保育園に公設民営化』についてで、事前に児童課あてに質問と要望を送り（下記）、当日それについて児童課より回答をいただきました。当日、児童課は児童課長保健福祉計画課長、他2人の職員の方の合計4人、区民の会は5人、そして萩野議員が出席し、1時間におよぶ話し合いとなりました。今回の通信は、話し合いの状況をお知らせします（裏面）。

尚、今回の通信については正確な情報をお伝えするために、裏面の話し合いの内容を事前に児童福祉課に確認していただきました。

平成13年8月27日

荒川区保健福祉部長様

保育園給食を考える荒川区民の会
会長 細谷隆

『保育園給食調理業務委託』と『既設直営保育園の公設民営化』について
(質問と要望)

《趣旨については割愛します》

(別紙)

『保育園給食調理業務委託』と『既設直営保育園の公設民営化』についての質問と要望

ご回答をお願いいたします。

[質問]

(1) 保育園給食調理業務委託については、現在どのような検討がなされていますか。私たち『保育園給食を考える荒川区民の会』は、すでに給食委託を実施している他区の状況を見学してまいりました。行政の皆様も見学をされたことと思いますが、それをふまえ今後どのように検討されますか。

- ・委託先の選定方法
- ・委託監視体制について
- ・食品の安全管理体制
- ・職員体制（栄養士など職員の配置）
- ・調理職員が委託されることによる保育園児の安全管理体制

(2) 既設直営保育園の公設民営化についておうかがいします。

『既設直営保育園の公設民営化の検討』につきましては、保育園水準や、園児の安全の観点から私たちは大変不安を持っております。

- ① 保育園は児童福祉施設であり、子どものための施設です。既設直営保育園の公設民営化は子どものためになりますか。
- ② 既設直営保育園の公設民営化を計画なさるときには、すでに委託を実施している区を見学されたことと思います。そのご感想をおきかせください。
- ③ 直営保育園の公設民営化については、23区の中でもまだ例を見ません。財政が困窮しているのは荒川区だけではないと思いますが、なぜ荒川区は他区に先行して行うのですか。
- ④ 今後どのようなかたちで検討がされるのでしょうか。

[要望]

『保育園給食調理業務委託』と『既設直営保育園の公設民営化』の検討にあたっては、保育園を利用する保護者の意見が直接検討に反映されるようにしていただきたい。そのために、保育園を利用する保護者を検討会のメンバーとして検討に参加させ、話し合いをすすめていただきたい。

福祉課との話し合いの内容

話し合いの前に『区民の会』は、行政に対して質問と要望書を書面にして送り（前面のとおり）話し合いの中で回答をお願いしました。『保育園給食調理業務委託』の検討は平成12年12月の回答（通信N09）から状況は進んでいないとの回答でした。

	『区民の会』 質問	行政の回答
保育園給食調理業務委託について	保育園給食調理業務委託する場合委託先の選定方法を教えてください。	厚生省からの通知をふまえ、きちんとした業者を選定したいと考えている。
	「きちんとした業者」とはどのような業者ですか。	下記の6つの条件をクリアしている業者を考えている。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ①保育園給食の趣旨を認識していること ②継続的、安定的雇用が確保されていること ③専門的栄養士がいること ④業務に従事する者の大半が相当の経験を有していること ⑤定期的に衛生面、技術面の教育又は訓練を実施していること ⑥定期的に検診を行っていること </div>
	調理職員が委託されることで、園児を見る職員の目が少なくなります。学校などでも物騒な事件が起きていますが、異常時、災害時の保育園児の安全管理体制が不安です。	委託内容に、災害時の対応について盛り込んでいきたい。
	緊急時や災害時の対応を契約に入れたり、上記の6つの条件を満たす業者では委託料がかえって高くなるのではないのでしょうか。試算はしましたか。	細かな試算はまだだが、そのようなことはないと考えている
	委託監視体制	園長、児童福祉課の栄養士をはじめ児童福祉課で責任をもって行う。
	栄養士配置などの職員体制	検討中
	保育園給食調理業務委託の検討はどの程度進んでいるのでしょうか。	平成12年12月5日の回答以降、検討は進んでいない。
既設保育園の公設民営化	既設保育園の公設民営化は子どもにとってよいことなのでしょうか。	直接子どもたちにとってよいことかどうかということとはわからないが、区としては、公設民営であっても、区立であっても入園している園児にとっては適切なレベルの保育が実施されると考えている。荒川区は250億円の借金があり、将来の課題である。区は常に事業の効率化を図っていくことが求められており、公設民営化はこのための方策と考えている。公設民営保育園では、その運営を専門の社会法人に任せ、法人のノウハウを活かしていきたい。
	既に委託をしている区を見学しましたか？	荒川区は委託の先進区であり、他区を見学する必要はない。他の自治体から見学にきている状況。
	どのような形で公設民営化が検討されるのでしょうか。	配置転換ではなく、退職者の不補充で検討している。子どもの安全と健康が守れるのであれば、公設民営でもよい。
今後の要望	『保育園給食調理業務委託』『既設保育園の公設民営化』の今後の検討に保護者を検討会のメンバーとして加えていただき、保護者の声が、政策に反映できるようにしていただきたい。	どのように、保護者の皆さんの声を伺う様にするかは検討したい。
	では、今後の検討にするにあたって、保護者や区民の声をどのように吸い上げ、どのように反映するのですか。	保護者に説明会を行いたい。
	本日は、平成12年12月のような福祉課との話し合いを持つことに、区民は大変苦勞をしている。今回は萩野議員にお世話になったが、次回は直接福祉課と連絡をとりたいのだが、萩野議員もお忙しいので、直接連絡して話し合いの約束ができないのだろうか。	萩野議員を通していただいてもよいが、児童福祉課長か、福祉計画課長に直接連絡いただいても結構である。

『保育園給食を考える荒川区民の会』通信のN01～N010をご希望の方は佐藤までご連絡下さい。

保育園給食を考える荒川区民の会通信

NO. 12

発行日：平成13年10月13日

代表者：柳谷 肇
事務局：佐藤千恵子

【発行】

保育園給食を考える荒川区民の会

代表者：柳谷 肇

代表者：柳谷 肇

荒川区立保育園父母の会連絡会

調理業務委託に反対する地区別集会所が開かれました。

平成13年9月11日から9月14日、荒川区職員労働組合保育園分会主催による地区別集会所が7回にわたって開かれました。

この集会所は、下記の日程、場所で開催され、区民・職員あわせて580人が参加しました。

集会所でははじめに、荒川区職員労働組合保育園分会から保護者に、調理業務委託やその問題点について説明が行われた後、意見交換の中では保護者から多くの質問や意見、不安が出されました。今回の通信は、地区別集会所の様子を報告します

地区別集会所の日にと場所

日 時	保 育 園 名	場 所
9月11日	南千住保育園・さつき保育園	さつき会館
9月12日	東日暮里保育園・三河島保育園	生涯学習センター
9月12日	東尾久保育園・町屋保育園・荒川保育園	町屋区民事務所
9月13日	西尾久みどり保育園・西尾久保育園	アクト21
9月13日	ひぐらし保育園・西日暮里保育園	サニーホール
9月14日	熊の前保育園・原保育園	アクト21
9月14日	第二南千住保育園・第二東日暮里保育園	スポーツセンター

地区別集会所の様子

調理担当からのお話し がんばることに気をつけています

①清潔面の管理

- ・まな板などの調理用具は沸騰消毒をしてから使う。(消毒薬ではない)
- ・包丁、まな板は野菜用、果物用、肉用、魚用、出来上り用と使い分け。
- ・食材チェック(鮮度のチェック、食材)、検食。
- ・食事が出来上がったら、食事の中心温度を計る。
- ・盛り付け時には使い捨ての手袋使用し、直接手を触れない。
- ・エプロン、帽子マスクは毎日洗濯して清潔にしている。
- ・毎日朝、麦茶を沸かし、子ども達には生水は飲ませない。
- ②子ども達の生活時間や行事に合わせた調理をしている
- ③成長、体調にあわせた調理の対応
 - ・離乳食ではきざみ方や煮方など、個々の子どもの発達にあわせて調理している
- ④アレルギー児への対応(除去食の対応)
- ⑤調理職員自身の健康管理
- ⑥だしやスープは食材から取り、人工添加物や加工食品を使わない調理
- ⑦子どもの食べる様子を見て回り、子どもの食べ方観察をしたり、保育士から話を聞いたりする。作っている姿が食べる子どもに見える

保育士からのお話し 委託になると保育も大変、保育水準が低下する

- ①保育園は、園長、保育士、調理職員、用務のどの職種が欠けてしまうと、いかない協力体制。調理業務の委託は保育水準の低下につながるのではない。
- ②現在の調理職員は、子どもの保育にからむ調理以外の仕事を担っており、例えば、子どもたちの布団敷き、用務職員が不在の時の洗濯、子供が体調が悪い時や行事食などの臨機応変の対応などである。委託になると調理以外の仕事をやらせられない可能性が大きい。
- ③現在の調理職員は、食事を作るだけでなく、日々子ども達の生活や行事の全てにかかわっている。
- ④調理職員が子どもの食べる様子を見て回って、話してあげることが、子どもに対する生きた食教育ができています。

保護者からの質問・意見

<p>保育園の耐震工事の時に調理室も工事のため、委託業者が調理をした。アレルギ-の子の母は、一部代替食を持参することになっていったが、忘れた時に、委託の場合区の調理職員は園長と相談し、代替食を作ってくれた。しかし委託では「忘れたのだから仕方がない」になる。</p>	<p>なぜ『調理業務委託』に反対するのですか。</p> <p>『調理業務委託』では、アレルギ-児の対応はどうなるか。</p>
<p>民間委託のメリットとデメリットはどのようなものなのか。チラシの内容以外にあるのか、知らせしてほしい。</p>	<p>荒川区は、高齢者に対する待遇は良い。子どもたちにも同じようにしてほしいし、保育園給食の業務委託は、保育の質が低下するので反対。委託しようとしている区側の職員とも話し合いをしたい。</p>
<p>保育園の給食を作る栄養士が区役所にいるということなので、栄養士と直接話をしたい。</p>	<p>子どものたちの大切な成長ももともとある保育園給食を、わずかな利益のための委託はやめてほしい。</p>
<p>センター方式にしたら、どれだけコストダウンできるのか。</p>	<p>知人が民間の委託給食の調理業務をしている。民間の調理業者は、収入が低いためにすぐに仕事を辞めてしまい、調理経験が引き継がれない。</p>
<p>初歩的な質問ですが、『業務委託』といわれても、よくわからない。また保育園の給食を味見することがないので、現状が把握できず、食事の部分が見えてこない。 「安全性と質の低下につながる」という点を詳しく説明してほしい。</p>	<p>中学校の給食委託会社に勤めている。中学校の給食は機械できむ。また、いろいろな所から食材を取り寄せているので、食中毒が起こった時の責任がどうなるのかわからない。保育園児の食事は機械ではきざめれないし、中学生の食事とは全く違うので、委託は難しいのでは。</p>
<p>委託になると給食が良い園と悪い園がでけると聞きましたが。</p>	

保育園のこと、話そうよ

荒川区では、学校給食に続き区立保育園の給食業務を民間に委託することや区立保育園の「公設民営（民間委託）化」、そして「公立保育園の保育料値上げ」の検討が開始されます。この時期に保育園についてみませんか、もっと話し合いませんか、ぜひご参加ください。

日時と場所

- ①日時：平成13年10月20日（土） 午後2時～午後4時
場所：アクト21 第一集会室（東尾久5-9-3）
- ②日時：平成13年10月21日（日） 午後2時～午後4時
場所：南千住西部区民事務所（南千住1-19-13）

内容

- ①給食調理の業務委託保育園 ②保育園の公設民営化
- ③保育料の値上げ
- ④保育園について日頃から思っていることを話しましょう。

主催 荒川区立保育園父母の会連絡会

*保育あります。お子様連れでおいでください。

ホームページ開設準備のご協力をお願いします

「保育園給食を考える荒川区民の会」では、ホームページを開設したいと考えています。ホームページの開設や運営、その他もろもろについて、詳しい方、お手伝いして下さる方を募集しています。佐藤までご連絡下さい。

細谷 隆さんからのメッセージ

アレルギ-の治療法や考え方は個々に違うものですね。もしかすると同じ悩みを抱えている人がいるかもしれません。
治療のことや保育園・学校の対応、アトピーやぜん息についてなど情報交換の輪を広げられるような場ができれば・・・と思っています。
興味のある方はぜひご連絡下さい。